

北方領土返還要求運動強調月間 署名コーナー設置のお知らせ

8月は、北方領土返還要求運動強調月間です。北方領土問題の解決のためには、領土返還に向けた外交交渉の展開を強く要望する道民世論の結集が何よりも必要です。

今年は、北方領土がロシアに不法占拠され続けて70年がたつ節目の年です。1人1人の返還に向けた思いを結集し、北方領土の返還を実現するため、署名にご協力ください。

署名コーナーの設置期間と場所

- ・期間 8月1日～31日
- ・場所 役場庁舎1階ロビー



北方領土マスコット「エリカちゃん」

●問い合わせ先

企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146・47・2498

ほのぼのスタンプラリー 2015 好評開催中

3回目となる「にいかっほのぼのスタンプラリー2015」が好評開催中です。

スタンプラリーは誰でも参加できますので、家族や友人と、新冠町に遊びに来た親戚のみなさんと一緒に参加し、町内の飲食店や観光施設を巡ってみてはいかがでしょうか？

スタンプラリーの申込書は、観光協会などで手に入れることができます。施設に設置してあるスタンプを集め、応募したい景品を選んで、申し込んでください。

- ・対象施設：町内観光施設8施設、飲食店5店舗
- ・開催期間：4月25日～9月30日
- ・参加料：無料
- ・景品：現金10万円・町内の特産物ほか。

●問い合わせ先

にいかっほ観光協会 ☎ 0146・45・7300

英語指導助手がかわります！

サム先生が帰国、新たにジャック先生が来町しました。

新冠中学校を中心に、新冠小、朝日小、認定こども園などで、英語指導助手として勤務してきたサミュエル・デイビット・インマン先生が、3年間の任期を終えアメリカに帰国しました。

サム先生は、アメリカと日本の違いなどについて、子どもたちが興味を持てるように面白く、分かりやすく説明することが得意で、ドレミの園児から中学生の生徒まで、たくさんの子どもたちに慕われていました。

サム先生から、町民の皆さんにメッセージをいただいておりますので、ご紹介します。

“I truly enjoyed my time in Niikappu. I hope the children of Niikappu learned a lot about English and my home country America. Before coming to Hokkaido, I didn't even know where Niikappu was, but now I feel that it is my second home in Japan. I'll never forget my time here. Thank you for all the good memories. - Sam ”



●「新冠での生活は本当に楽しいものでした。新冠町の子ども達が『英語』『私の母国アメリカ』のことを、たくさん知ってもらうことができたのであれば嬉しいです。北海道に来る前は、新冠町の場所すら知りませんでした。今となつては、日本にある私の二つ目の故郷のように感じています。ここで過ごした日々は、決して忘れません。たくさん素晴らしい思い出をもうもありがとうございます。(サム)」

●サム先生の後任に、パワーズ・ジャクソン・ベントン先生(22歳)が着任しました。

●ジャック先生は、アメリカ出身で身長が187cm。バスケットボールやサッカー、野球が好きとのこと。

●また、好きな食べ物はラーメンで、日本の昔の映画を見ることも好きとのこと。

●新冠では、ハイキングやキャンプなども楽しみたいそうです。

●皆さん、町で見かたら、「ジャック先生」と気軽に声をかけください。

●●問い合わせ先 教育委員会管理課 ☎ 0146・47・2500



役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

戦没者などの遺族の方へ特別弔慰金について

戦没者などの死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日において、公務扶助料や遺族年金などを受ける方がいない場合に、第十回特別弔慰金として額面25万円、5年償還の記名国債が支給されます。

【支給対象者】

次の順番による先順位のご遺族お一人です。

1. 弔慰金の受給権者
2. 戦没者などの子
3. 戦没者などと生計関係を有しており、かつ、戦没者などと氏が同じである、
①父母、②孫、③祖父母 ④兄弟姉妹

4. 前記3以外の、
①父母、②孫、③祖父母 ④兄弟姉妹
5. 前記1から4以外のご遺族で、戦没者などの死亡時まで引き続き一年以上生計関係を有していた三親等以内の親族

【請求期限】

平成30年4月2日まで

●問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ社会係
☎ 0146・47・2112

町観光振興プロデューサーのご紹介

町では、民間が主体となった観光を推進するため、これまで太陽の森ディアシオ美術館で企画事業部長として勤務していた谷本晃一さんを、7月1日付で町観光振興プロデューサーに任命しました。

谷本さんは大阪市出身で、アメリカの大学で経営学を学び、都内の楽器販売店や介護事業所で勤務。その後、2年前に新冠町に移住し、6月30日までディアシオ美術館の企画事業部長として勤務していました。

今後は、豊かな国際感覚と民間の企画力を生かしながら、国内外のお客さまに対し、新冠ならではの魅力を紹介していきます。

●問い合わせ先

企画課まちづくりグループ観光係 ☎ 0146・47・2498

●谷本町観光振興プロデューサーからのご挨拶

●「まちを一つの会社と見立てた時、私たちのまちは儲かっている会社でしょうか？」

●観光とは産業です。考えることで終わらず一緒に動こう。小さくてもいい。まちの裏通りでもいい。自ら稼いで収入を拡大し、産業を強くすることでまちという会社が儲かります。

●より楽しく暮らしやすく活力のあるまちにこそ、真の観光需要が生まれると信じています。

●これから、いろいろな機会でご皆さんにお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。」



上海からの観光客の受け入れ

7月17日から4日間、上海からの観光客が新冠町を訪れ、ピーマンの収穫体験や搾乳体験、乗馬体験やキャラ弁づくり、ふるさと祭りを楽しみました。

今回、新冠町を訪れたのは、上海在住の富裕層4家族9人で、谷本観光振興プロデューサーが現地コーディネーターとして受け入れをしました。

ツアー参加者は、雄大な自然と牧場風景の中で繰り広げられる体験活動を満喫していました。

